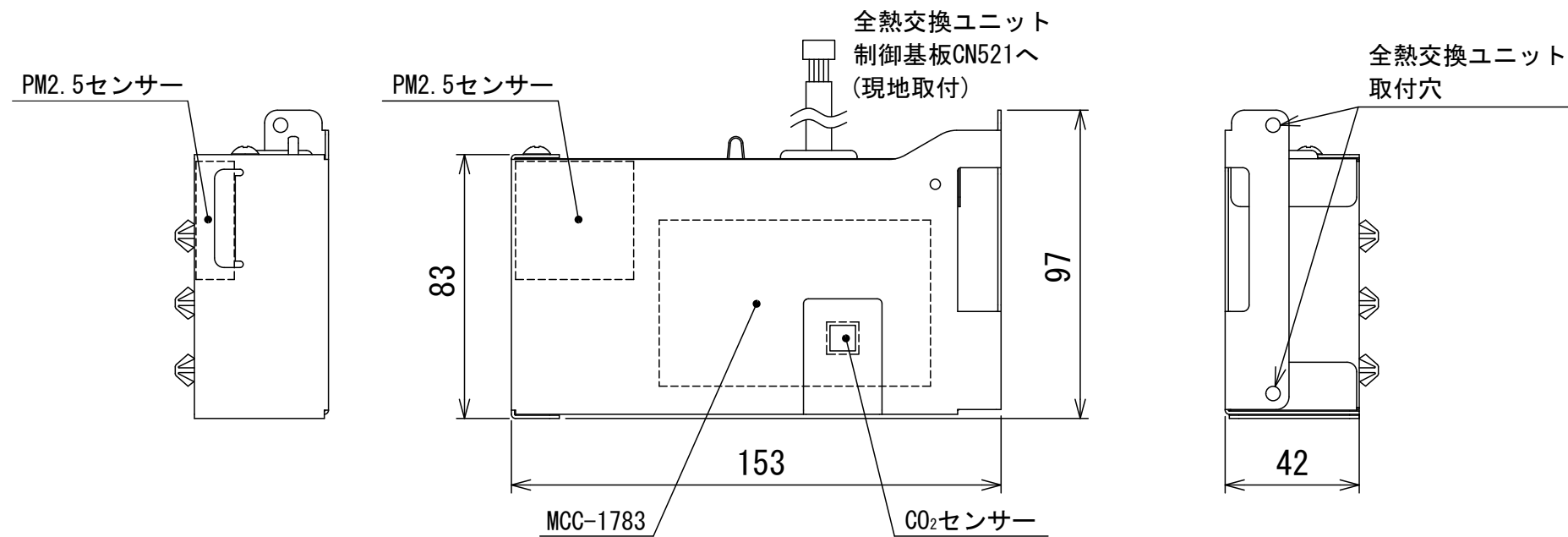


東芝 業務用・全熱交換ユニット 別売部品

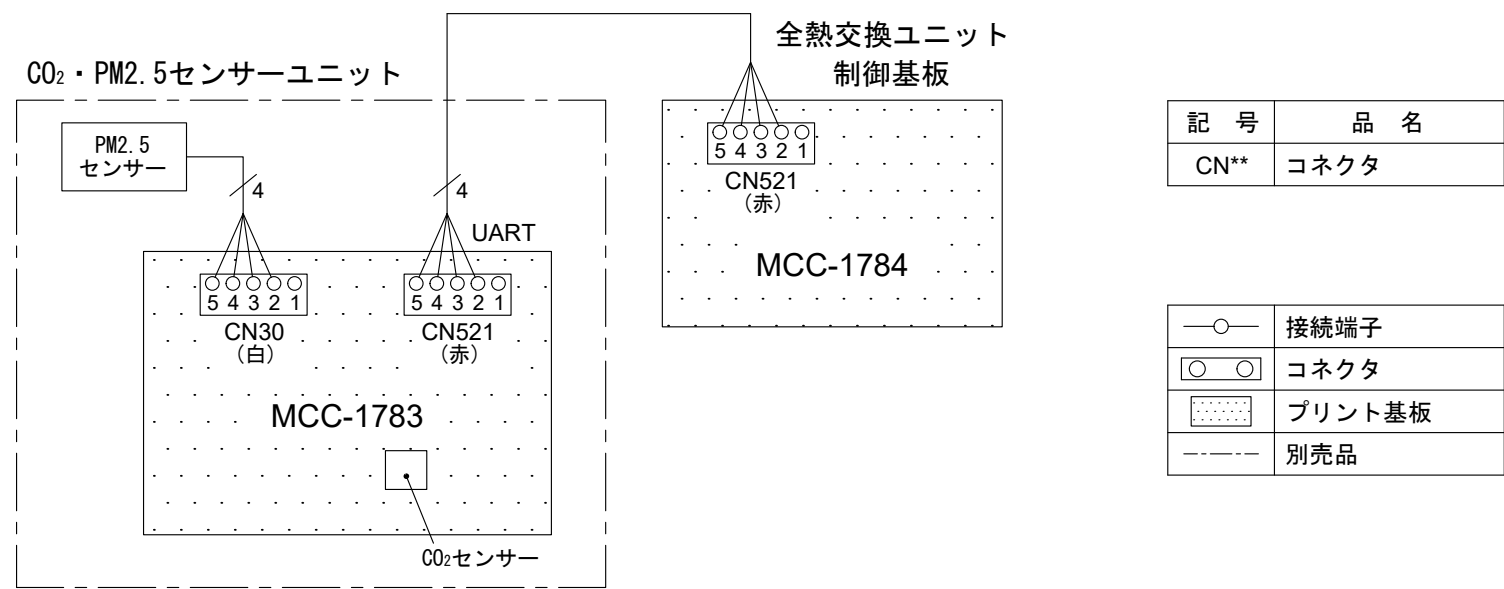
CO₂・PM2.5センサーユニット

■外形図



付 属 品
取付説明書…1部
設定説明書…1部
全熱交換ユニット取付ねじ…2個

■配線図



※本仕様は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

図番	AV005601-NRB-1CPS	02	図法
		238	三角法
品名	東芝業務用・全熱交換ユニット別売部品 CO ₂ ・PM2.5センサーユニット (1/2)	尺度	単位
		m	mm
形名	NRB-1CPS	日本キャリア株式会社	

東芝 業務用・全熱交換ユニット 別売部品

CO₂・PM2.5センサーユニット

■注意事項

1. 施工時の注意点

- 本センサーユニットを使用する場合、リモコンでの各種設定が必要です。
付属品の設定説明書に従い設定してください。
- 本センサーユニットは全熱交換ユニットの専用品です。
適用機種を間違えないように取り付けてください。
- 全熱交換ユニットでシステムを構成する場合、単独システムの場合は必ず親機に本センサーユニットを接続してください（※1）。
空調機との連動制御の場合は必ず室内アドレスの一番小さい全熱交換ユニットに本センサーユニットを接続してください（※2）。
空調機との連動制御で本センサーユニットに対応していない空調機と連動した場合、リモコンからの換気量【自動】を選択できません。
※1）親機に本センサーが接続されていても、子機は換気量自動制御を行いません。
子機も換気量自動制御を行いたい場合は、本センサーを子機にも接続してください。
ただし、リモコンへのCO₂・PM2.5濃度表示は親機のセンサー測定値となります。
※2）室内アドレスの一番小さい全熱交換ユニットに本センサーが接続されていても、他の全熱交換ユニットは換気量自動制御を行いません。他の全熱交換ユニットも換気量自動制御を行いたい場合は、本センサーを他の全熱交換ユニットにも接続してください。ただし、リモコンへのCO₂・PM2.5濃度表示は室内アドレスが一番小さい全熱交換ユニットのセンサー測定値となります。
- PM2.5濃度制御は室内のPM2.5濃度を換気により低減させることを目的としているため、外気のPM2.5濃度が高い場所（幹線道路沿いや工業地域にお住いの方）では、別売高性能フィルター<PM2.5対応>と併せてご使用頂くことを推奨します。（別売高性能フィルター<PM2.5対応>をご使用にならない場合は、PM2.5濃度制御を無効に設定することをおすすめします。）
- 本センサーユニットは、医療機器や防災機器等、高い安全性・信頼性が必要な用途には使用しないでください。また強い磁気を発する環境に設置しないでください。

- 室内のホコリなどが本センサーユニットに付着するのを防止するため、フィルター付きの給排気グリル（当社静音形）を室内吸込(RA)側に取り付けることを推奨します。
- 常時タバコの煙が発生する室内での使用は、本センサーが劣化し正確な濃度を表示できないことがあります。
- 温泉地区など二酸化硫黄を多く含む環境での使用はできません。本センサーの劣化につながります。
- 本CO₂センサーは、内部に温湿度センサーが搭載されており随時測定値を補正しています。
ただし、揮発性有機化合物（VOC）（※3）にセンサーが暴露されてしまった場合は、汚染の影響によりCO₂の測定濃度精度が悪化する恐れがあるためご注意ください。
※3）塗料や接着剤、インクなどに含まれるアルコールや溶剤、ガソリンから揮発されるトルエンやキシレン、金属や機器の洗浄に使用されるトリクレン（トリクロロエチレン）、塩化メチレン（ジクロロメタン）など。

- CO₂自動校正機能は、夜間や部屋・オフィスに人の出入りが少ない時間帯においてCO₂濃度が一番低くなった値を基準値（≒一般の外気のCO₂濃度）と認識して校正を行います。従って、本CO₂センサーで検知しているCO₂濃度と実際の室内空間のCO₂濃度は異なる場合があります。このため、室内や室外のCO₂濃度が一般的な濃度に比べて常時高いと思われる場所（幹線道路沿い、工業地帯など）は実際のCO₂濃度と検知濃度のずれが大きくなる場合があります。そのような場合は、自動校正機能をOFFにして使用ください。また必要に応じて強制校正機能を実施してください。
- 本センサーユニットに設けられている各センサーの開口部に、ホコリの侵入を防止するなどの目的でフィルターを取り付けるなどの改造を行わないでください。センサーが正しい値を検知できなくなります。

2. 使用上の注意点

- 本センサーユニットは計量法に基づいた計測器ではありません。
酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となる有毒ガス・可燃性ガスを検知したり防止する安全装置としては使用しないでください。

- 各センサーの濃度検知は全熱交換ユニット本体の室内吸込(RA)風路で行います。また居室内の濃度にもムラが生じるため、リモコンに表示される濃度と環境計測などの濃度に差異が生じる場合があります。リモコンに表示する濃度と環境計測などの濃度に差異がある場合は、センサーの感度を調整したり、リモコンに表示する濃度を補正することができます。（環境計測：大気などの環境の状態を把握するために行う濃度などの測定や調査・分析のこと）
- 本センサーユニットでは、運転/停止の自動制御はできません。
- 換気量【自動】運転時は、リモコンからの換気モード設定に関わらず、【全熱換気モード】固定で運転します。（リモコンの表示は設定した換気モード表示のままとなります。）
- 24時間換気運転中やナイトページ運転中は、本センサーによる換気量自動制御を実施しません。
- 室内の濃度に関係なく、臭いや粉塵など換気にて除去したい場合は、換気量は【自動】ではなく、【強】を選択してください。
- 急激な温度変化や湿度変化（降雨など）の影響により、本センサーの検知精度が変化し、室内の濃度を正しく検知できない場合があります。そのような場合はしばらく換気量を【自動】ではなく【強】で運転してください。
- 換気量【自動】運転時には、風量が自動的に増えて音が大きくなる場合があります。

3. その他の注意点

- 各センサーの検知濃度は使用環境、製品設置条件などにより異なるため、ご使用の環境によっては目標濃度を上回ることがあります。
- 本センサーユニットは一般的な室内空気環境での使用を目的としています。極端にホコリなどが発生する室内で使用された場合は、室内の濃度を正しく検知できないことがあります。

※本仕様は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

図番	AV005601-NRB-1CPS	02	図法
		238	
品名	東芝業務用・全熱交換ユニット別売部品 CO ₂ ・PM2.5センサーユニット（2/2）	尺度	単位
形名	NRB-1CPS	日本キャリア株式会社	